

疫学I

必修

開講年次：3年次前期

科目区分：講義

単位：1単位

講義時間：15時間

■**科目のねらい**：疫学は、人間集団の観察を通して疾病の要因とその予防対策を考えるために発展してきた学問です。その手法は集団を対象とした公衆衛生分野にとどまらず、臨床や看護の場面でも応用されるようになり、EBMやEBNの「科学的根拠」を表すものとなっています。疫学の基本的知識を基にエビデンスの信頼性と適用を判断できる力を養います。

■**到達目標**：①疫学概念が理解できる
②疫学に使われる指標の意味が理解できる
③疫学が看護の場面でどのように生かされているのか説明できる

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎喜多 歳子

■**授業計画・内容**：

- 第1回 健康情報と疫学
- 第2回 集団の健康状態の指標
- 第3回 研究方法（因果関係）
- 第4回 研究方法（観察集団・尺度・交絡）
- 第5回 疫学情報の信頼性
- 第6回 疫学の応用・スクリーニング
- 第7回 社会疫学と政策

■**教科書**：なし（毎回、資料を配布します）

■**参考文献**：『はじめて学ばやさしい疫学～疫学への招待～（改訂第2版）』日本疫学会監修（南江堂）2010
『健康・医療の情報を読み解く 健康情報学への招待』中山健夫著（丸善出版）平成26年
『基本からわかる看護疫学入門』大木秀一著（医歯薬出版）2011

■**成績評価基準と方法**：定期試験70%、授業内課題30%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験	◎	◎	◎		70%
小テスト	○	○	○	講義の理解	30%

◎：より重視する ○重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：公衆衛生学、保健統計

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：毎回、講義の最後に小テストを実施します。